

ほりかわ幼稚園の
公私連携幼保連携型認定こども園化
に係る意見交換会

日にち 令和4年9月17日（土）から23日（金）

場 所 ほりかわ幼稚園遊戯室・堀川小学校体育館

秦 野 市

堀川地区での乳幼児期における保護者ニーズの変化に対応した環境整備を図るため、令和7年4月1日から、ほりかわ幼稚園を『公私連携幼保連携型認定こども園』に移行することについて、ほりかわ幼稚園及び未就園児保護者との第1回意見交換会等でのご意見を踏まえ、次のとおり変更いたします。

◇計画の変更

「令和5年度の新入園児募集停止」及び「令和6年度の休園」については、当初の計画を見直し、令和6年度まで、ほりかわ幼稚園の運営を継続し、令和7年度からのこども園化を目指すこととしました。

当初計画	変更計画
令和5年度新入園児の募集停止	令和5年度及び6年度の新入園児募集を継続
令和6年度の休園	令和6年度は堀川小学校の教室を活用して、ほりかわ幼稚園を運営
令和7年4月1日のこども園開園	当初計画どおり ※令和6年度の新入園児は、令和7年度は新たなこども園に移行

◇令和6年度の園運営場所を堀川小学校とした理由

施設名称	検討結果
ほりかわ幼稚園	工事をしながらの園運営は、安全面や教育活動への影響、現場の教職員の安全配慮への負担増などの課題が多く、幼稚園運営は難しいと判断した。
堀川小学校	運用面の工夫と必要な施設整備により、安全を確保し、園運営を行うことができると判断した。 また、学校という性質上、子どもが生活する場所としての安心感があり、幼児・児童が同じ空間にいることは、双方の育ちにとって、良い環境となる。
堀川公民館	トイレ、ロビーなどの共用スペースにおいて、公民館利用者との利用が重なる、出入り口の前が駐車場となるなど、安全面において、幼稚園運営に適さないと判断した。
堀川児童館	保育室の十分な面積を確保することができず、水回り設備の数も不足しており、施設面において、幼稚園運営が難しいと判断した。

◇募集停止・休園以外のご意見への対応状況

なぜ急いでやるのか	
開園時期を延期してはどうか	<p>保留児童の多くは0歳から2歳の低年齢児となっています。これは、育児休業から復帰するタイミングで、子どもを預けることができない状況を表しており、仕事と子育てを両立するための環境整備は急務であると考えております。</p> <p>また、保育所が定員を超えて受け入れを行っている状況を緩和するため、改めて令和7年度からの開園を目指すこととしました。</p>
西幼稚園における未就園児交流の設定について	<p>9月20日（火）をほりかわ幼稚園の優先日として、設定させていただきました。当日は、園のすぐ隣の駐車場をご利用頂けます。</p>
未就園児に情報が行き届いていない	
西地区の方は知っているのか	<p>広報はだの、掲示板、ホームページにて情報発信に努めています。</p>
外国籍へのフォローについて	<p>ホームページ上に英訳及び簡単な日本語でのお知らせを掲載するとともにご相談については個別対応をします。</p>
地域への周知について	<p>今回の計画変更の内容をもって、地域への説明会を実施します。</p>
運営法人についての情報発信もしてほしい	<p>運営法人が決まりましたら、運営法人と市による説明会を開催する予定です。</p>
工事期間中、小学校の通学路であることへの不安	<p>登校・登園時間での工事車両の通行の制限や誘導員の配置などについて、運営法人と協議し、安全に通学・通園できるよう努めます。</p>

◇令和6年度の園運営に係る保育室等の配置（案）について

配置（案）を基に、施設面・運用面の両面から、教職員及び保護者の意見を伺い、今後、詳細について決定していきます。

	【①案】 図工室・図工準備室 (体育館棟1階)		【②案】 PTA会議室・相談室 (管理教室棟2階)	
活用場所	保育室	図工室 (パーティションで 2部屋に分割)	保育室	PTA会議室 (パーティションで 2部屋に分割)
	職員室兼 保健室	図工準備室	職員室兼 保健室	相談室
	トイレ	玄関横 ・便器【大6、小3】 大便器内訳：大人3、 子ども3	トイレ	2階1の3の前、又は 1階プレイルームの前 ・便器【大8、小5】 大便器内訳：大人3、 子ども5
	昇降口	幼稚園専用	昇降口	児童と共用(下駄箱別)
	園庭	校庭の一角に設置	園庭	校庭の一角に設置
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・園児・児童の生活動線を分離しやすい。 ・特別教室は常時使用するものではないため、②案より両者の教育活動への影響が小さい。 ・1階であることから、外遊びや非常時などに外に出やすい。 ・職員室が近く、職員の連携が図りやすい。 ・昇降口が専用となるため、登降園時に園と保護者の相談・連絡が行いやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育室の前の学校図書館が教育活動で活用しやすく、活動の幅が広がりやすい。 ・教室棟内にあり、子ども同士の自然な交流が期待できる。 ・前年まで一緒に過ごした1年生の姿を身近に感じることができ、安心感や期待感が生まれる。 	
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・②案より全体的に暗い印象がある。 ・児童と園児の生活場所が分離されているため、子どもの自然な交流が生まれにくい。 ・児童の特別教室利用時に、互いの教育活動に影響が生じる恐れがある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・2階のトイレを使う場合、1年生と共用となる。また、1階のトイレを使う場合、保育室から遠くなりすぎる。 ・1年生の教室と保育室が近いいため、特に年度当初において、1年生が学校生活に馴染むのに時間がかかる可能性がある。 	